

報道関係各位

2016年4月22日
株式会社オーシャナイズ

**「大学生のお金の教科書 2016 ~大学生の夢と現実とお金の話。~」
10万部を全国の大学(57大学 74キャンパス)で配布**

株式会社オーシャナイズとSMBC日興証券株式会社は、大学生の金融リテラシー向上のためのプロジェクト(以下、UNISA(ユニーサ)※)において、「大学生のお金の教科書 2016 ~大学生の夢と現実とお金の話。~」を、大学生といっしょに制作いたしました。本年4月より、約10万部を、全国の大学(57大学 74キャンパス)の生協や書籍部などにて、新年度の教科書販売時等に無料で配布しております。



UNISAの活動は、大学生が自らの夢を実現するために必要な金融リテラシーを普及させていくことを目的としております。その一歩として、大学生の金融リテラシーの実態を把握するため、大学生とのディスカッションや海外からの留学生との座談会などを実施してまいりました。調査を通じて、大学生は、色々なライフイベントで必要となるお金の総額など、お金の知識に乏しく、また、お金について相談できる相手や学ぶ機会が少ないことが分かりました。そこで、大学生が、これから必要になってくるお金の知識を、楽しく学べるような教科書を制作し、広く配布することいたしました。

<大学生による教科書制作の様様>



本教科書は、学生編・社会人編・知識編の3部構成とし、各編ごとに担当の学生を割り振り、大学生自らが企画、執筆しました。学生編では大学生活にかかるお金、社会人編では様々なライフイベントに必要なお金、知識編では分散投資や積立投資の効果、資産形成の基礎知識について、それぞれ掲載しています。(別紙、「学生編・社会人編・知識編(一部抜粋)」参照)

こちらのサイトに本教科書の全文を掲載しております。 → <http://unisa.jp/>

全国の大学での配布に先立ち、本年 2 月 13 日(土)の「NISA の日」には本教科書の制作発表イベントを開催し、制作を担当した大学生によるプレゼンテーションやクイズを行い、イベントに来場した大学生にむけて、本教科書の内容を紹介いたしました。

イベント終了後、来場した大学生を対象に行ったアンケートでは、約 8 割の学生が「お金に対する考え方が変わった」と回答し、9 割以上の学生が「お金の教科書を読みたい」と回答しました。(別紙、「イベントに参加者した大学生のアンケート結果(一部抜粋)」参照)

当社は、「いっしょに、明日のこと。」をブランドスローガンに、今後も UNISA プロジェクトを通じ、大学生と「いっしょに」企画を展開し、金融リテラシー向上に貢献する活動に取り組み、社会に貢献してまいります。

※ 「UNISA(ユニーサ)」とは大学生の金融リテラシー向上に資するためのプロジェクトの名称であり、「University」と「NISA」を組み合わせでSMBC日興証券とオーシャナイズがつくった造語です。

以 上

報道関係お問い合わせ先:

株式会社オーシャナイズ

担当:二見 悠

03-6264-9204



【別紙：学生編・社会人編・知識編（一部抜粋）】

<学生編>

項目	金額
予定の支出	5,000円
現実の支出	24,422円

品名	金額
朝食	1,000円
昼食	1,500円
夕食	1,500円
お菓子	500円
飲み物	500円
交通費	500円
雑費	500円
その他	500円
合計	7,000円

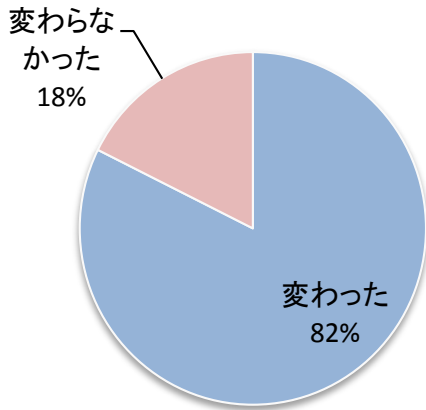
<社会人編>

項目	金額
基本給	30,000円
残業代	15,000円
退職金	10,000円
合計	55,000円
社会保険料	10,000円
所得税	5,000円
支払手元	30,000円

<知識編>

【別紙: イベントに参加した大学生のアンケート結果(一部抜粋)】

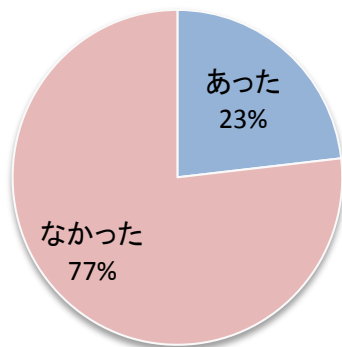
本日のイベントを通して、「お金」についての考え方が変わったか



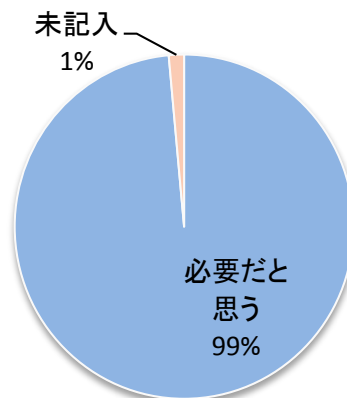
【回答例】

- ✓ 予想以上に今までもこれからもたくさんのお金がかかることにビックリしました。
- ✓ もっとしっかり考えないといけないと思った。
- ✓ 今までぼやっとしか考えていなかったのが、現実的に考えられるようになりました。

「お金」に関する知識を学ぶ機会は今まであったか



「お金」に関する知識を学ぶ必要があると思うか



<イベント当日の様様>

